



なのみ通信

令和3年度 筑前町立東小田小学校 学校通信 2月25日 第18号

こんにちは。

厳しい寒波が去り、春の足音が遠くに聞こえて来ました。

2月に入るやコロナの急襲に本校も学級・学年閉鎖が発生し、子ども達、保護者の皆様は大きな不安を抱き、またお仕事等にも大きな支障をきたしたと存じます。14日(月)によりやくすべての閉鎖が解けましたが、安心安全の学校づくりにまだまだ油断のできない日々が続きます。

◆ 感謝のリサイクル活動 ◆

2月20日(日)冷たい雪の舞う中、第3回リサイクル活動が行われ

ました。このリサイクル活動による収益金は、全校児童の芸術鑑賞(一人

600円)や運動会の学校周辺警備、プール監視員、地方分会活動補助など、

文化や安全面の充実のための本校の貴重な財政源となっております。本年度は、第2回(8/22)が緊急事態宣言により中止となり、厳しい財政運営となっていましたので、今回実施いただいたことは本当に有難いことでした。

あいにくの厳しい天候となり、大変ご苦勞をおかけいたしました。皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。



◆ 通学路 その二十九 ◆

あいさつ運動

毎週水曜日は、PTA「朝のあいさつ運動」の日。

今日は、いつもよりぐんと冷え込み、立っておくのもつらい朝です。

間もなく、玄関内に置かれた参加者名簿に、次々とおうちの方々が記名にやって来ました。すでに何人の方が校門付近で子ども達を迎えています。

重装備で丸々と身を固め居並ぶのはPTAのベテラン陣。

よく見ると、その中に、初々しいお母さんがひとり。

朝、きつと大急ぎでやって来たのでしよう、手袋をしていない両手は、赤くふくらんでいます。

「手がとっても冷たいでしょう。真っ赤になって・・・。」

と声をかけると、そのお母さんは自分の両手を見て、

「ホントだ!」

という表情でマスク越しに、にっこり笑って応えます。

私はその笑顔に元気をもらい、急に足取りを軽くして、いつもの交差点へと向かいます。

忙しい朝に、大事な時間をけずってのあいさつ運動。

今朝だけは、大事なことを横に置き、我が子の通う学校へとかけつける。週に一度の素敵な

「おはようございます。」

の声に、驚いたり、はにかんだりしながら返す子ども達。

マスクがかすかに動く子や、まゆ毛が上がるだけの子もいるけれど、子ども達のハートには、あの温かいまなざしや明るい声が届いているだろうと感じる朝です。

タブレット・ピアノは楽し!

2年生が自分のタブレットで鍵盤を開き演奏しています。一人1台のピアノから素敵な音楽が生まれています。

